

資料配布先：

経済産業省記者会

学研都市記者クラブ

2014年12月19日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

革新的 CO₂ 膜分離技術シンポジウム ～ 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～ 開催のご案内

当機構が組合員として加盟しております次世代型膜モジュール技術研究組合では、研究成果を広く関係の皆様にご紹介するため、以下の通り「革新的CO₂膜分離技術シンポジウム」を開催する運びとなりましたのでご案内します。

本シンポジウムでは、基調講演として、米国 National Carbon Capture Center における CCS 実証実験や、欧州およびノルウェーにおける CO₂ 分離回収技術など、欧米の CCS 技術開発の最新動向をご紹介いただきます。また、膜技術基調講演として山口大学喜多教授から膜分離技術の最新動向についてご紹介いただくとともに、当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術の最近の研究動向についてご報告いたします。

CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞きいただける絶好の機会ですので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留 (CCS : Carbon dioxide Capture and Storage) は、温室効果ガスの大気中への排出削減効果が大きいこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つと期待されています。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、今後効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール研究開発事業) を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外の膜技術の研究開発動向について報告し、最新情報について知っていただくことを目的としています。

2. 開催概要

主 催：次世代型膜モジュール技術研究組合

共 催：経済産業省

後 援：日本CCS調査株式会社、Global CCS Institute、
公益社団法人新化学技術推進協会

協 賛：日本膜学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人高分子学会

日 時：2015年2月2日 (月) 13:00 – 17:00 (受付開始 12:30)

会 場：第一ホテル東京 5F「ラ・ローズ」 (東京都港区新橋 1-2-6)

参加費：無料

プログラム（敬称略）：

- ・基調講演「米国 National Carbon Capture Center における CCS 実証試験」
Southern Company Principal Engineer Tony Wu
 - ・基調講演「ヨーロッパおよびノルウェーにおける CO₂ 分離回収技術」
ノルウェー科学技術大学（NTNU） 教授 May-Britt Hägg
 - ・膜技術基調講演「膜分離技術の現状と将来展望」
山口大学 教授 喜多 英敏
 - ・膜技術の海外調査報告
技術研究組合 主管 藤田 明士
 - ・「次世代型膜モジュール技術の進捗について」
技術研究組合 専務理事 中尾 真一
- （詳細は別紙をご参照ください。）

3. 参加登録

事前申し込み制とします。参加を希望される方は、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mail（mgmsympo@gmail.com）にて申し込み願います。

（定員 160 名 先着順に参加登録）

4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前にお申込み下さいますようお願いいたします。
やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

- | |
|--|
| <p>○ワークショップの内容・参加登録に関するお問合せ先：
次世代型膜モジュール技術研究組合：池田、菰野、鹿嶋
TEL：0774-72-0230 E-mail：mgmsympo@gmail.com</p> <p>○本プレス発表に関するお問い合わせ先：
公益財団法人地球環境産業技術研究機構
企画調査グループ 広報・産業連携チーム 大倉、辰巳
TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp</p> |
|--|

革新的 CO₂ 膜分離技術シンポジウム

～ 温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～

次世代型膜モジュール技術研究組合

日 時 : 平成 27 年 2 月 2 日 (月) 13 時～17 時 (受付開始 12 時 30 分)

会 場 : 第一ホテル東京 5F ラ・ローズ

定 員 : 160 名

参加費 : 無料

主 催 : 次世代型膜モジュール技術研究組合

共 催 : 経済産業省

後 援 : 日本 CCS 調査 (株)、Global CCS Institute、
(公社) 新化学技術推進協会

協 賛 : 日本膜学会、(公社) 化学工学会、(公社) 高分子学会

開催趣旨

二酸化炭素回収・貯留 (CCS : Carbon dioxide Capture and Storage) は、温室効果ガスの大気中への排出削減効果が大いこと等から、地球温暖化対策の重要な選択肢の一つと期待されています。そのなかで、次世代型膜モジュール技術研究組合は、効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力を有するガスから低コストで分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール研究開発事業) を経済産業省からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは当技術研究組合が開発している二酸化炭素分離膜技術や国内外での膜技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的としています。

プログラム

13:00-13:05	開会			
13:05-13:10	主催者挨拶	技術研究組合	理事長	西岡 務
13:10-13:15	共催者挨拶	経済産業省地球環境連携室	室長	永澤 剛
13:15-13:55	基調講演 「米国 National Carbon Capture Center における CCS 実証試験」	Southern Company	Principal Engineer	Tony Wu
13:55-14:35	基調講演 「ヨーロッパおよびノルウェーにおける CO ₂ 分離回収技術」	ノルウェー科学技術大学 (NTNU)	教授	May-Britt Hägg
14:35-14:55	休憩			
14:55-15:45	膜技術基調講演 「膜分離技術の現状と将来展望」	山口大学	教授	喜多 英敏
15:45-16:10	膜技術の海外調査報告	技術研究組合	主管	藤田 明士
16:10-16:50	「次世代型膜モジュール技術の進捗について」	技術研究組合	専務理事	中尾 真一
16:50-16:55	閉会挨拶	技術研究組合	理事	内田 親司朗
16:55-17:00	閉会			

* 上記プログラム内容については、変更されることがあります。

** 膜モジュール・ポスター等の展示も実施します。

○ 会場のご案内

第一ホテル東京 5F ラ・ローズ (〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6)

【アクセス】

- JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より地下歩道にて直結、徒歩約2分
(新橋内幸町地下歩道D出口)
- ゆりかもめ「新橋駅」より徒歩約2分
- 都営三田線「内幸町駅」より徒歩約3分
- 都営大江戸線「汐留駅」より徒歩約10分



○ お問い合わせ先

(公財)地球環境産業技術研究機構内 次世代型膜モジュール技術研究組合
TEL:0774-72-0230 FAX:0774-75-2318
E-mail:mgmsympo@gmail.com

○ 参加お申し込み

事前申し込み制とします。参加を希望される方は、所属、住所、氏名、電話番号を記載のうえ、E-mail (mgmsympo@gmail.com) にて申し込み願います。(先着順)